

～助け合い・支え合いは日ごろのつながりから始まる～



つなごろう 橋本だより

2022年3月
創刊号

発行：つなごろう橋本
(第2層協議体)



令和2年1月29日 つなごろう橋本の様子

つなごろう橋本って何？

平成27年4月に介
場です。

護保法が改正され、
全国の市町村におい
て、高齢者を主体とし
た地域づくりが始ま
り、橋本市において
も、どんな地域づく
りを進めていくかを話
し合う基盤体制が行
われ、現在、市内に9
つの協議体が設置さ
れました。

橋本地区では、橋本
区・古佐田区・妻区・原
田区・東家区・市協区・
小原田区・苜蒲谷区・
みゆき台区・さつき台
区の主要なメンバーが
集まり、平成30年3
月に「つなごろう橋
本」が発足しました。

協議体は、単に話し合
いだけでなく、みんな
で話し合って『あつた
らしいな！』を形にし
ていく『協議と実践の



←地域の情報等があれば私たち世話人までご連絡ください。
(写真左上)松田良夫さん、堀川憲一さん、石井紀義さん
(写真左下)山本照子さん、奥村里枝子さん、大家多賀子さん

笑いあふれる地域の拠り所

手作りの根城 これぞ男だけのサロン 「火曜農園」(東家区)



▲手づくりの基地内で、まずはコーヒーを楽しみます



▲みんなで農作業は楽しいです。

東家区のバイパス沿いの近くにある農園。手作りの小屋に地域の男性5〜6人が毎週火曜日に集まっています。まずは、コーヒーを飲みながら、栽培する作物について話し合いが始まり、世間話をしながら、それぞれの元気な様子を確認し合います。農作業は、一人ではないので、みんなです。短時間で作業は結構

はかどります。語り合いながら、大好きな農作業を気心しれた仲間と一緒にできる。まさに地域の拠り所です。



地域のお店が いつのまにかサロンに 「木曜サミット」(東家区)



▲店内は話しやすい雰囲気です。

東家区にある向井米穀店。ここが地域の拠り所となっています。毎週木曜日、お菓子等を持ち寄って、8〜10人の女性メンバーが集まって楽しい語らいが広がっています。会の名前は「マドナ」の会で語らいの場を「木曜サミット」と名付けました。気兼ねしない・楽しい・なんでもしゃべれる等が十数年も続いている秘訣だそうです。集まりやすい場所と店の雰囲気が自然に生まれたサロンになっています。

